

気候情報

2021年5月の日本の天候

- 気温は、沖縄・奄美で記録的に高かった
- 降水量は西日本でかなり多く、日照時間は北・東日本日本海側でかなり少なかった

5月の天気概況

平年に比べ梅雨前線が早く北上し、南から暖かい空気が流れ込むとともに、太平洋高気圧に覆われ月間日照時間が多かった沖縄・奄美では月平均気温が記録的に高かった。中旬を中心に本州付近に停滞した活発な梅雨前線の影響で、東・西日本では曇りや雨の日が多く、月降水量は西日本でかなり多く、月間日照時間は東日本日本海側でかなり少なかった。また、低気圧や前線の影響を受けやすかった北日本日本海側では月間日照時間がかなり少なかった。

上旬：低気圧や前線の影響を受けやすかった東日本日本海側では旬降水量が多く、旬間日照時間が少なかった。また、低気圧通過後に寒気の影響を受けた西日本では気温が低かった。一方、5日には梅雨前線が顕在化し、その後、沖縄・奄美から本州南海上で停滞した。沖縄・奄美ではそのころ梅雨入りしたとみられる。

旬平均気温は、西日本で低かった。一方、沖縄・奄美で高かった。北・東日本では平年並だった。

旬降水量は、北日本太平洋側で少なかった。一方、東日本日本海側で多かった。北日本日本海側、東日本太平洋側、西日本と沖縄・奄美では平年並だった。

旬間日照時間は、東・西日本太平洋側で多かった。一方、東日本日本海側で少なかった。北日本、西日本日本海側と沖縄・奄美では平年並だった。

中旬：活発な梅雨前線が本州付近に停滞し、九州南部では11日ごろに、九州北部・四国・中国地方では15日ごろに、近畿・東海地方では16日ごろに、それぞれ平年よりかなり早く梅雨入りしたとみられる。このため、東・西日本では曇りや雨の日が多く、特に西日本日本海側では旬降水量が292%と統計開始の1946年以来5月中旬として最も多く、西日本日本海側と太平洋側では、旬間日照時間がそれぞれ32%と28%と統計開始の1961年以来5月中旬として最も少なくなった。北日本では天気が周期的に変化した。

旬平均気温は、西日本と沖縄・奄美でかなり高く、北・東日本では高かった。

旬降水量は、北日本日本海側と西日本でかなり多く、東日本日本海側で多かった。一方、沖縄・奄美では少なかった。北・東日本太平洋側では平年並だった。

旬間日照時間は、東日本太平洋側と西日本でかなり少なく、東日本日本海側で少なかった。一方、北日本日本海側と沖縄・奄美で多かった。北日本太平洋側では平年並だった。

下旬：梅雨前線や低気圧の影響で、北・東・西日本では曇りや雨の日が多かった。21日には東日本と西日本で大雨となった。また、27日にも九州南部で大雨と

なった。月末には梅雨前線が南下し、沖縄・奄美で曇りや雨の日が多くなるとともに、東・西日本では晴れた日もあった。

旬平均気温は、沖縄・奄美でかなり高かった。一方、西日本で低かった。北・東日本では平年並だった。

旬降水量は、北日本日本海側でかなり多く、北日本太平洋側と東・西日本、沖縄・奄美で多かった。

旬間日照時間は、北日本日本海側でかなり少なく、北日本太平洋側、東日本、西日本太平洋側、沖縄・奄美で少なかった。西日本日本海側では平年並だった。

5月の気候統計

月平均気温：沖縄・奄美でかなり高かった。北・東・西日本では平年並だった。

月降水量：西日本でかなり多く、北日本日本海側と東日本で多かった。一方、沖縄・奄美で少なかった。北日本太平洋側では平年並だった。

月間日照時間：北・東日本日本海側でかなり少なく、北・東日本太平洋側と西日本で少なかった。一方、沖縄・奄美で多かった。

(気象庁大気海洋部観測整備計画課)

—— 5月の記録（1位更新のみ、タイ記録含む）——

- ・月平均気温高い方から（℃）
与那国島（沖縄県）27.6など7地点
- ・月降水量多い方から（mm）
阿久根（鹿児島県）629.0など5地点
- ・月間日照時間少ない方から（h）
岩見沢（北海道）132.1

2021年5月の平年差（比）図

